

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	支援記録等の内容の記録の仕方(内容)を見直す必要があると考えます。 現状として、記録の内容に不適切な言い回し、内容があり、改善する必要があると考えます。	記録の仕方(内容)について、言い回し、不適切な用語の把握を、チームで意識する事を心がけ、互いに入居様への尊厳を持った気持ちに磨きをかける。	定期的勉強会を行い学習する。 ホーム内でしっかりと禁止用語を定め、会話の中だけではなく、記録類においても仕方(内容)をチームで意識し、間違った内容に対しては、互いに注意し合える体制をつくっていき改善を図る。	3ヶ月
2	26	今までも、家族様の要望や職員の意見、日常生活の中で把握した状況等から検討して、ご本人様の今に適合したプランの作成に努めているが、連続的なフィードバックをできているとは言えない。	計画→実施→評価→改善を連続的に行えるシステムを構築し、ただやるだけではなく、記録に残していき「本人本位」の視点を介護計画の基軸に達成を目指す。	今までも家族様の要望や職員の意見、日常生活の中で把握した状況等から検討して、ご本人様の今に適合したプランの作成に努めて、それに対して評価、改善を行ってきたが、別に計画→実施→評価→改善の一連の流れ記録用紙に残して連続的なフィードバックを行う。	12ヶ月
3	49	入居者様のADL低下にも個人差があり、自立度の高い方への外出支援、生活機能支援が優先的になってしまっている。	個別対応にも工夫を行い、自立度の低い方々にも外出支援、生活機能支援を日常的に行えるようにする。これは、スタッフだけで行うのではなく、ご家族様の協力も含めて取り組む。	引き続き外出行事を多く企画して、どの方にも外出の機会を平等に確保する。 遠足には引き続き家族様をお誘いする事は、当然であるが、普段においても、来所された時にはご家族様に協力して頂ける環境づくりを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。